

「インキュベーションラボ応募テーマ検討に向けたワークショップ」開催レポート

2月9日（金曜日）に開催された「インキュベーションラボ応募テーマ検討に向けたワークショップ」に関して、ご報告いたします。本ワークショップには、1社のモニター企業様にご参加いただき、大変盛況なワークショップとなりました。

この度は、モニターとしてご参加いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

◆開催概要◆

インキュベーションラボでは、民間企業単独では解決が難しい社会的および産業構造の課題への対応として、協調領域の探索とアーキテクチャにより解決する支援をおこなっています。この枠組みの一環として、アーキテクチャを活用した課題整理を主題とするワークショップを開催しました。

このワークショップは、テーマ公募に向けた取り組みの一環であり、参加者には課題の深い理解とアーキテクチャを用いた解決策の検討プロセスを体験いただく場となり、参加者は複雑な課題に対する新たな視点を得るとともに、協力して解決策を模索する貴重な機会を有しました。

インキュベーションラボは、今後もこうしたイベントを通じて、社会・産業の持続可能な発展に寄与する革新的なアイデアの創出を支援して参ります。

日時：2024年2月9日（金）13:00～17:30

場所：IPA 会議室

主催：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

デジタルアーキテクチャ・デザインセンター（DADC）

◆参加者の声◆

- ・今回のワークショップでは、普段のアイデア出しとは違い、システムの設計や構造に注目して、何が必要で、どう考えるべきかについて深く考えるようになりました。これを自社でも使える共通の言葉として取り入れたいと思います。
- ・組織内の異なる部署間でのコミュニケーションにおいて苦労していることが多いですが、課題を整理し、細分化された課題を共通認識として扱うことが大切であると感じました。
- ・ワークショップでのメンバーとの話し合いを通じて、アーキテクチャ思考により、考え方を広げるのに役立ったと思います。



プライバシーに配慮し、画像を加工しています。

以上